

# 研究者のための特許セミナー

— 論文投稿と特許出願の二刀流になるために —

大学の研究者は、研究成果の公表に際して、特許をどう扱っていくべきでしょうか？そもそも論文と特許はどう異なるのでしょうか？大学の研究者としての研究スタイルを決めるパラメータのひとつに特許出願があります。同じ研究トピックでも、論文データベースから得られる情報と特許データベースから得られる情報は、異なっています。このセミナーでは、大学における事前発明相談、職務関連発明の定義、発明届の提出から、実施例の追加のためのギャップファンドの使い方までをレクチャーします。論文だけでなく、特許も出してみようと考えられている研究者向けに、大学での発明管理の全体像と出願に向けた相談体制とその利用方法、手続き論を解説します。

2025年 **5月14日** **水** 18:45-20:30

司会：加納 信吾

(新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 教授)

zoom開催

講義「東京大学における特許出願と支援の体系  
-発明相談からギャップファンドの活用まで-

講師：本田 圭子 先生

(株式会社東大TLO 代表取締役社長 弁理士・医学博士)

内容：

- ・職務「関連」発明の範囲
- ・事前発明相談 -東大TLOの相談業務の紹介-
- ・発明届からライセンスまで 本学特許出願の現状
- ・特許戦略と研究戦略はどう連動するか 事例紹介
- ・権利化の概念の範囲と実施例の関係
- ・ギャップファンド活用による実施例の強化

当セミナーは、学内(教職員・学生)を対象としたものです。

ZoomURLは、UTOLで下記に記載しています。

[https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/lms/course?idnumber=2025\\_4775\\_47240-47\\_01](https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/lms/course?idnumber=2025_4775_47240-47_01)

問合せ

[sympo@bioip-lab.org](mailto:sympo@bioip-lab.org)

共催：東京大学大学院 新領域創成科学研究科 知財管理委員会

共催：株式会社東京大学TLO

※ 本セミナーは、「バイオ知財法概論」の一部にもなっています。

zoomのリンクは、UTOLリンクから入って確認してください。